

ぬくしな社協だより

発行責任者
 温品学区社会福祉協議会
 会長 中谷正憲
 電話 温品公民館内
 289-0256

第35回 温品ふれあい盆踊り大会 8月5日(土) 温品小学校第2グラウンドで盛大に開催された



取材記事は4ページにあります。

ボランティアさん募集 温品社協 ボランティアぬくもり

自分づくりの挑戦にボランティア活動に参加しませんか？チョットの時間をお貸しください。皆さんを仲間たちがお待ちしています

【こんな活動をしています】

＊子供(児童)支援活動

『児童の登下校時の見守り(ぬくしなっ子みまもり隊)』活動は随時(登下校時間の通学路・小学校の大休憩時間の校庭)

＊高齢者支援活動 その1

『高齢者サロンのお世話(サロンほっと)』活動は開催の都度(開催日〓毎月第2・3・4金曜日の午前中 開催場所〓憩いの館おおもり・下温品集会所・公民館)

＊高齢者支援活動 その2

『昼食弁当の配達』活動は老人ホーム温品荘で弁当を受け取り配達(毎月第2・4火曜日の午前11時〜正午)

＊子育て支援活動

『子育てサロンのお世話(ぬくしなっこ)』活動は乳幼児健康相談日のオープンスペース時(開催日〓毎月第2木曜日の午前中 開催場所〓温品集会所)

＊その他高齢者等への支援活動

『一人暮らし高齢者宅のゴミ出し・高齢者の話し相手等』活動は支援申込の都度(依頼の都度、協力可能者に連絡)

【申し込みをお待ちしています】

＊『申込書は公民館の窓口』(必要事項を記入)期限はありません

＊『提出は公民館の投函箱』(速やかに回収し名簿に登録します)

【ボランティア保険に加入します】

【高齢者いきいき活動ポイント事業の適用になります】

【70歳以上の方、いきいきポイント集めて、元氣・やる氣のシルバード！】

〓男性の方大歓迎〓

この件のお問い合わせは

280・3679 中尾常信

280・1087 長船節子

(社協 西郷三千男)



移動いきいきサロン

まちづくりの拠点施設として、 更なる活用を！

広島市温品公民館 館長 重田 浩一



日頃から公民館活動につきまして、地域の皆さまのご支援・ご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

今年4月に温品公民館に赴任し、早いもので約半年がたちました。この間、さまざまな行事に参加し、そこで感じたことは、「温品の皆さんはとても温かく、地域団体相互が協力しあい、一体となって活動している」ということです。「良いところに来させていただいたなあ」というのが正直な気持ちです。

現在、当館には40の学習グループと20の地域団体が登録し、子どもから大人までが趣味や教養を高める教室や、まちづくりのための会議を行うなど、さまざまな活動が行われています。

また、当館が主催する「ふれあいフェスティバル」をはじめ、「子どものものづくり教室」や「女性セミナー」、「寿大学」なども実施し、「人づくり」や「人をつなげる」ための活動を通して、当地区のまちづくりの拠点施設としての役割を果たしています。とはいえ、当館の稼働率は4割程度であり、十分に活用されているとはいえません。当地区のまちづくりをさらに発展

させ、次代を担う子どもたちに引き継ぐためにも、公民館をもっと活用していただきたいと思います。

地域の子どもたちの

遊びの拠点として

温品児童館 館長 川戸直美

温品児童館は開館5年目を迎えました。私は4月から館長としてお世話になっております。地域の皆様には日頃より児童館活動にご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

児童館は小学生はもちろん、幼児親子さんから中学生まで幅広い年齢層の皆さんが利用しています。遊具で自由に遊んだり、本を読んだり、おしゃべりしたり、子どもたちが思い思いに過ごせる居場所です。



カプトムシ教室で楽しむ子どもたち

地域の方々のご協力で行われている行事も多く、おはなし会やお茶会では心が落ち着くひと時を経験させていただきます。夏休み

みにはカプト虫講座も楽しみました。

これからは秋の児童館まつり(10月22日)にむけて、子どもたちが企画から参加して作り上げていく活動にも取り組みたいと思っています。

児童館が遊びの拠点となり、遊びを通して地域の子どもたちの健全育成の一端を担っていただければと思っています。今後ともご指導、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

「教育」

温品中学校PTA会長 石田 剛規

こんにちは、本年度より温品中学校PTA会長をさせて頂いております石田剛規と申します。僕自身、温品小学校、温品中学校の卒業生です。

今、温中PTA活動を行ってとても強く感じるのが地域のつながりです。小学校、中学校の子どもたちが地域といろいろな形で携り子どもたちにとっても良い経験になり、とても良い関係だと思っています。

学校も含め地域の方々とみんなで子どもたちを育て、地域社会も育てる素晴らしい環境づくりを皆さんと一緒に、もっと楽しく、もっと頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

学校・家庭・地域が連携して 健全な子どもの育成

温品小学校PTA会長 柿本 忠則



日頃より、PTA活動にご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、今年5月に開催された総会にて温品小学校PTA会長に就任することになりました。どうぞよろしく

お願いいたします。会長という大役を引き受けて4カ月が経過しましたが、右も左も分からず日々奮闘しているところでございますが、就任してさまざまな会議、活動に参加し分かったことは、温品地区ではさまざまな地域の団体が子どもからご年配の方が暮らしやすい街づくり、地域活性化、地域コミュニティの構築に向けて日々活動されていることでした。

PTA活動も同様に、子どもたちが学校生活を有意義にいきたいと、たくましく成長していけるよう学校職員と保護者で協力し環境整備、各活動を行っています。温品地区ではこれに加えて子どもたちが安心して暮らせるよう地域の各団体にもご協力いただいていることに改めて感謝申し上げます。

近年PTA活動については、少子高齢化、家庭環境の変化によりさまざまな意見、報道等がされていますが、私自身子どもを持つ保護者として必要な団体組織だと思っています。

しかしながら、近年の生活環境、家庭環境が変化するなかで、その時代に合った活動スタイルがなければ、子どもの育成という本来の趣旨から、保護者の負担感がしなくなり、結果としてしっかりとした活動ができなくなるのでは

ないかと感じています。

就任して間もないですが、まずは役員全員が楽しく活動できる環境作り、そして役員、保護者になるべく負担なく活動できるように知恵を絞って頑張っていくたいと思いますので皆さまのご指導、ご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。

温品と子ども

温品学区子ども会育成協議会

会長 小川 薫維

温品地区の皆さまには、平素より子ども会へのご理解とご協力を頂きありがとうございます。

本年度より会長を務めさせていただき4カ月が過ぎました。私事ではございますが、このような活動自体の経験が全くなく、地域行事のどれがPTAで何が子ども会で、社協と体協の関係は？という始末でございます。

しかしながら、この4カ月という短い期間の中でさえはつきりと分かったことがあります。温品の地域の皆さまが、どれほど子どもたちのためにご協力してくださっているか、日々 目の当た

りに致しております。

本当に『感謝』という言葉しかございません。地域の方々との交流・体験を通して、子どもたちは何を感じているのでしょうか。子どもたちの心に残っていくのでしょうか。あの子どもたちの笑顔がこの『温品の未来』ではないでしょうか。その行く末を見

守っていきたく思い、子ども会としても微力ではございますが精いっぱい活動をさせていたたく所存でございます。

温品の皆さまにおかれましては、これまでと同様に、子ども会へのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



さつまいもの植え付け



アキちゃん

バズーカしげぞう・作

「しっばいしても…」の巻



わたしはアキちゃん

ぬくしな小の3年生です



またまちがえた

さんすう だいきらい! もういやだ!



しっばいしてもあきらめずにやってみんさい

はなれやう



ほうよね

おおかあさんもダイエツト、なんかいしっばいしてもやりよるもんね

待て! 次号!

第35回 温品ふれあい盆踊り大会

平成29年度第35回温品ふれあい盆踊り大会が、8月5日(土)に温品小学校第2グラウンドで行われた。開催に向けて、6月に実行委員会(社協、連合町内会、老年会連合会、体協、郵便局、小中PTA、母子寡婦福祉会、子ども会、女性会)が行われ、7月には出店者会議があった。

当日は午後3時から大変暑い中汗だくになりながら関係者のみなさんは会場準備をした。午後6時には関係各団体やおやじ苦楽部などのお店もオープンし、かき氷、唐揚げ、フライドポテト、くじ、おにぎり、魚釣り、ポップコーン、フランクフルト、ボールすくい、輪投げ、射的、飲み物、焼きそば、クレープ:多くのお店でにぎわった。

午後7時、中谷正憲大会会長の挨拶で会が始まった。岡山県である全国フットベースボール大会に出場する東区子ども会選抜チーム「イースター」の紹介と挨拶もあった。その後、着物の温品女性会を中心に踊りのスタート。会場の参加者も踊りの輪に加わった。温品きんさい音頭、炭坑節、アラレちゃん音頭、ドンパン節、ビューティフルサンデーなどの曲に合わせて踊りが続いた。

子どもたちにはアイス(チューチュー)が配布された。
午後9時過ぎには会は終了し、後片付けが行われ、翌日にも片付けは行われた。
関係各団体のご尽力ご協力に感謝し、また多くの団体や個人からも寄付を頂いた。大会に参加された皆さんが楽しいひと時を過ごした夏の良い思い出となった。
(広報部・宮武加代子)

温品社協・29年度事業計画について

温品学区社会福祉協議会
会長 中谷正憲

温品学区の皆さまには、平素から社会福祉協議会の活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、近年、少子高齢化・核家族化の進展など地域の社会構造の根底を揺るがす問題提起がなされていますが、現在、その諸課題が想定以上のスピードで進行しており、地域社会は大きな不安と課題を突きつけられております。このような現状の中、温品社協は、本年度「事業計画」を地道に実行し、体制強化を図ってまいりたいと存じます。その主なものは、

- (一) 社協の活動が、より住民の皆さまに伝わり、ご理解・ご協力が得られるよう、拠点の整備を含め広報活動の充実に努めてまいります。
- (二) 基本三事業(①近隣ミニネットワーク ②いきいきサロン ③ボランティアぬくもり)の推進に鋭意努めるとともに、福祉委員制度の確立・充実に意を注ぎ、体制強化いたします。また、救急医療キットの配布、あいさつ運動の展開など、福祉事業の推進を図ります。
- (三) 伝統行事の遂行など各種イベントを活性化することにより、地域の融和を図り、高

齢者や子どもたちが集う幅広い地域の「和」づくりを図ってまいります。

温品社協は、25年問題(後期高齢者急増問題)を含め、諸課題の解決により力を注いでまいりたいと思えます。皆さまにはより一層のご理解・ご支援をお願い申し上げます。
なお、温品社協の「平成28年度・決算書」は上記の通りです。

【民生委員】の欠員が出た!

温品地区状況

下温品「民児協」は、13人の民生委員と1人の主任児童員で構成されています。昨年、11月の一斉改選から1人の民生委員の欠員が出ました。欠員地区では、関係者が新民生委員の選出に努力していますが、現在のところ欠員状態が続いています。残念なことです。候補が決まらず新年度を迎えました。民生委員不在のまま、住民の皆さまにはご不便、ご心配をおかけして申し訳ありません。当該地区の新町内会長には、民生委員選出を依頼しております。

【民生委員・児童委員の任務】

- 一、住民の立場に立って、町の福祉を担う
- 二、身近な相談相手見守り役として活動する
- ・地域での孤立をなくす
- ・子どもたちの安全を守るなどです。

今年の5月から6月にかけて、『65歳以上の地区在住状況確認調査』が行われましたが、民生委員不在のため、当該地区は実施されていません。当該地区の情報は、3年前のものになり、新規の方、転出、転入者については、詳細がつかめず情報連絡ができなくなっています。当該地区の皆さまには、民生委員からの情報も届かないのでご心配だろうと思えます。欠員が早く解消されることを願っています。
(広報部・上寺勇)

平成28年度 決算書

(収入の部) (単位:円)

科目	決算額
前年度繰越金	1,511,060
会費	445,350
助成金	435,470
協賛金	185,000
雑収入	63,200
利息	58
合計	2,640,138

(支出の部)

科目	決算額
事務費	53,165
会議費	4,050
福祉事業費	489,564
部会事業費	464,578
研修費	4,000
広報費	127,909
あいさつ運動	58,320
負担金	30,000
保険	17,100
雑費	30,000
予備費	
次年度繰越金	1,361,452
合計	2,640,138